

【日本現代史シリーズ3・4】日本初の科学訴訟といわれた画期的裁判資料!!

伊方原発設置反対運動 裁判資料 全7巻

解説 藤田一良(弁護士 ※1回配本) / 編集・解題・解説 澤 正宏 (福島大学名誉教授)

● 体裁 B5判・上製・総約 5,200 頁

新刊

● 定価 第1回配本 172,800 円(本体 160,000 円+税) ISBN978-4-905388-58-6 C3332(2013年9月刊行)

第2回配本 97,200 円(本体 90,000 円+税) ISBN978-4-905388-66-1 C3332(2014年2月刊行)

本資料の特色

- ① 本資料は昭和48年に提訴された「伊方原発1号炉設置許可取消訴訟」(四国電力伊方原子力発電所原子炉設置許可処分取消請求行政訴訟)の松山地裁第一審から、平成4年の最高裁判決までの長期にわたる膨大な裁判資料を2回に分けて収録するものである。
- ② 本資料は、福島第2原発訴訟弁護団長・安田純治弁護士所蔵資料及び、伊方原発訴訟原告弁護団長・藤田一良弁護士所蔵資料(現、立教大学共生社会研究センター所蔵)を底本として復刻した。
- ③ 各資料には、福島大学名誉教授・澤 正宏氏の書誌事項を含む綿密な解題・解説やオリジナル作成資料等を付す。※特に『伊方原発関連年表』は約40頁にわたり詳細に記述(別冊に収録)

刊行にあたって

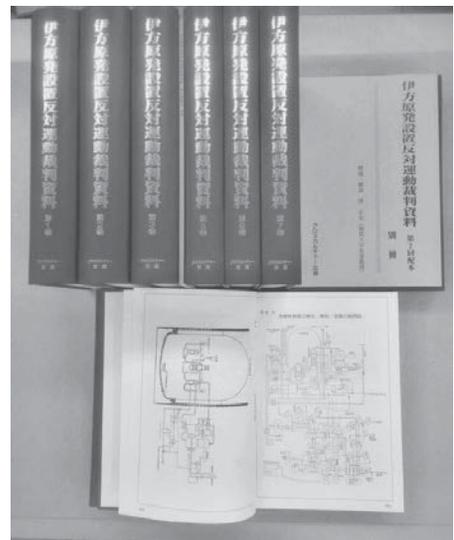
福島原発事故を経験した今、原発問題の趨勢こそが、とりもなおさずわが国の将来を決定づける重大な要因であることを改めて認識し、ここに、原発関係資料の一環として『伊方原発設置反対運動裁判資料』を刊行する。(中略)本資料集が研究者のみならず、すべての人々にとってよってたつ原点となることを切望してやまない。

推薦します

原告側の準備書面(一三)には「原告らが護ろうとしているのはただに自らの生命・健康や生活環境の安全だけではなく広く日本国民や未来の人類の運命であることを強く自覚するものである」と記されている。まだ遅すぎることはない。今こそ原告が起訴した問題を共有し、再検討する時期である。

高木恒一(立教大学社会学部教授 / 共生社会研究センター長)

- 第1巻 伊方原発行政訴訟【資料1】訴状 効力停止決定申立書 原子炉安全専門審査会報告書 意義申立書 棄却決定書
- 伊方原発行政訴訟【資料2】被告(国)側答弁書 原告側準備書面(一)
- 伊方原発行政訴訟【資料3】被告側準備書面(一) 被告側準備書面(二) 原告側準備書面(二) 被告側準備書面(四)
- 伊方原発行政訴訟【資料4】原告側準備書面(三) 被告側準備書面(五) 原告側文書提出命令申立
- 伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件 準備書面(原告13)(上)
- 一伊方原子力発電所の危険性及び違法性のすべて―(伊方原発行政訴訟弁護団)
- 伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件 準備書面(原告13)(下)
- 一伊方原子力発電所の危険性及び違法性のすべて―(伊方原発行政訴訟弁護団)
- 伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件準備書面(被告)(一三)
- 第3巻 伊方原子力発電所裁判証言記録(一)～(九)
- 第4巻 昭和48年(行ウ)第五号 伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件判決 当事者の表示 主文 事実、その一～その四、理由、添付別紙(松山地方裁判所民事第一部)
- 第5巻 上告理由書 1985(昭和60)年6月28日(伊方原発行政訴訟弁護団)
- 第6巻 上告理由補充書 1986(昭和61)年6月25日(伊方原発行政訴訟弁護団)
- 上告理由補充書(二) 1988(昭和63)年6月23日(伊方原発行政訴訟弁護団)
- 「終りのはじまり」チェルノブイリ事故と本件許可処分並びに原判決の違法性
- 上告理由補充書(三) 1991(平成3)年6月20日(伊方原発行政訴訟弁護団)
- 「加圧水型原発の終焉」
- 第7巻 準備書面(控訴人原告四) 1980(昭和55)年1月31日(伊方原発行政訴訟弁護団)
- 一スリーマイル島原子力発電所の事故は人類破滅への道を指し示す―
- 最高裁、高松高裁判決部分等を収録 参考資料
- 別冊 解題・解説【伊方原発関連年表】(澤 正宏)



学術出版 クロスカルチャー出版

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-7-6-201
TEL 03-5577-6707 / FAX 03-5577-6708
e-mail: crocul99@sound.ocn.ne.jp